

◇ 近畿地区用地対策連絡協議会（土地分科会）との意見交換会：報告

恒例の近畿地区用地対策連絡協議会（近畿用対連）と近畿不動産鑑定士協会連合会（近畿連合会）との意見交換会が11月22日（木）13時20分より大阪合同庁舎第1号館 新館3階において、近畿用対連からは近畿地方整備局をはじめ20の起業者31名が、近畿連合会からは福井士協会を加え31名が参加し開催されました。

はじめに、松永幹事・調査研究委員長から「最高裁判所(H24.4.23)から垣間見れる宅地見込地評価の問題点」についての説明と意見交換会の各班共通テーマである「宅地見込地の評価について」の論点説明がありました。

続いて6班に分かれ、各士協会の会長が司会を担当しテーマについて意見交換を行いました。終了後、各班担当の調査研究委員及び渉外広報委員より各班の議論概要や意見、質問等の内容について報告が行われた後、長谷川副会長が閉会挨拶を行い盛況のうちに終了しました。